

令和元年度 さいたま市立仲本小学校 自己評価書

校長 _____ 石 山 俊 之 _____ 印

1 学校で設定した「令和元年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 確かな学力の向上（よい授業の4つの因子、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善・保護者・地域の人材を積極的に活用したきめ細かな指導の充実）
→教育課程の編成・実施状況、各教科等の授業の状況、児童生徒の状況
- (2) コミュニケーション能力の向上（心のサポート、いじめ撲滅体制の確立）
→いじめ防止等の状況、生徒指導の状況、教育相談の状況
- (3) 安全で落ち着いた教育環境の整備（危機管理体制の構築と意識の徹底、安全な登下校指導と生活指導の徹底）
→安全管理の状況、安全教育の状況
- (4) スクール・コミュニティによる連携・協働（教育内容の積極的公開・情報発信、学校評価の充実、地域社会の教育力の活用）
→学校に関する情報公開の状況、学校と保護者、地域住民との連携の状況

2 評価結果について

【成果】

- (1) 保護者等アンケートより、「一人ひとりの子どもたちを大切に育てる教育の推進」「学習指導・評価」について、肯定的な回答が9割を超えている。よい授業の4つの因子を意識した授業の実施、学年会等での教材研究等の成果と考える。
- (2) 「いじめへの対応」については、保護者等アンケートより肯定的な回答が9割を超えている。学級や学年だけでなく生徒指導委員会、教育相談部会等学校全体で情報を共有するとともに、関係諸機関(教育相談室、児童相談所、SC、SSW、さわやか相談員等)を活用し、迅速な対応を心掛けている成果と考える。
- (3) 保護者等アンケートより安全指導について肯定的な回答が9割以上を超えている。安全点検や安全指導についての成果が出ていると考えられる。
- (4) 保護者等アンケートより「教育活動の公開」「家庭への連絡」についての回答が9割近い。学校からの文書・HPや学校公開や各種会議等を通して、適切に情報公開・連絡が出来ていると考えている。

【課題】

- (1) 「あいさつ」について、職員の自己評価や保護者アンケートより肯定的な回答が6割にとどまっている。児童の自己評価は高いため、相手に伝わる気持ちのよいあいさつや地域におけるあいさつについての意識が低いことが考えられる。
- (2) 児童アンケートから「わからないときは、先生に質問をしますか」について、肯定的な回答が8割に届かず、改善が必要と考える。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- 「あいさつ」について、児童同士だけではなく、地域で見守って下さる方、校内ですれ違う大人にも挨拶や会釈をすることを全教職員で共通理解を図り、全校への指導、学級指導を継続的に行っていく。また、保護者や地域に方々へ大人が積極的に気持ちのよい挨拶をする呼びかけを実施していく。
- 「先生に質問する」について、校内研究や研修において、児童理解と温かで適切な信頼関係を醸成する環境づくりと、児童の自立に向けた教育活動の推進を行っていく。

令和元年度 さいたま市立仲本小学校 学校関係者評価書

さいたま市立仲本小学校

学校関係者評価委員長 芹澤 妙子

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

7人

(2) 実施回数

3回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- 児童数が増加する中、先生方にはきめ細やかな対応をしてもらっている。
- 学校は地域の教育力を生かし、質の高い教育活動を実践している。
- 「あいさつ」が課題となっているが、防犯の観点から、子どもたちも挨拶をしづらいのではないかと感じている。関わりが増えることで、あいさつをしてくれる子が増えると感じている。一概に挨拶ができないということではないと思う。
- 青空タイム（縦割り活動）の取組が素晴らしい。子どもたち同士の関わりはこれからもぜひ増やしてほしい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 今後も保護者・地域の皆様の理解と協力を得ながら、その期待に応えられるよう、子どもたちにとって価値のある教育活動を実践していく。
- 「あいさつ」については、児童同士にとどまらず、地域の方、校内ですれ違う大人まで対象を広げ、全教職員共通理解のもと、継続的に指導していく。
- 児童に社会性や、多様性を受け入れる姿勢を身に付けられるよう、縦割り活動を充実する等、児童同士が関わる環境整備を進める。
- 今後も児童に対して教職員だけでなく、学校カウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、関係機関とも協力・連携を図り、よりきめ細やかで丁寧な対応をしていく。

さいたま市立仲本小学校長

石山 俊之

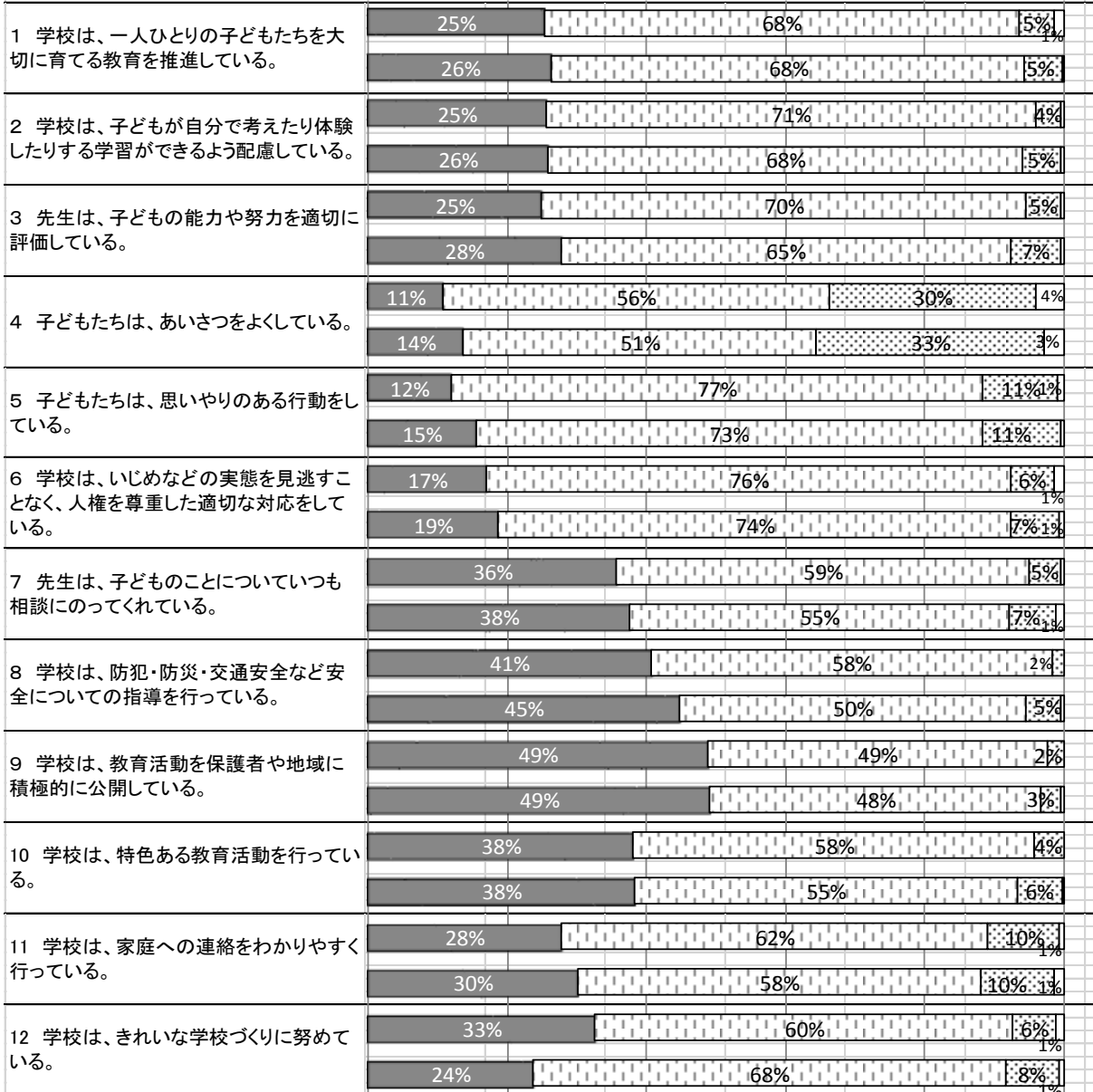
令和元年度 学校評価アンケート集計結果

さいたま市立仲本小学校

保護者・学校評議員・育成会

上段:平成30年度 下段:令和元年度

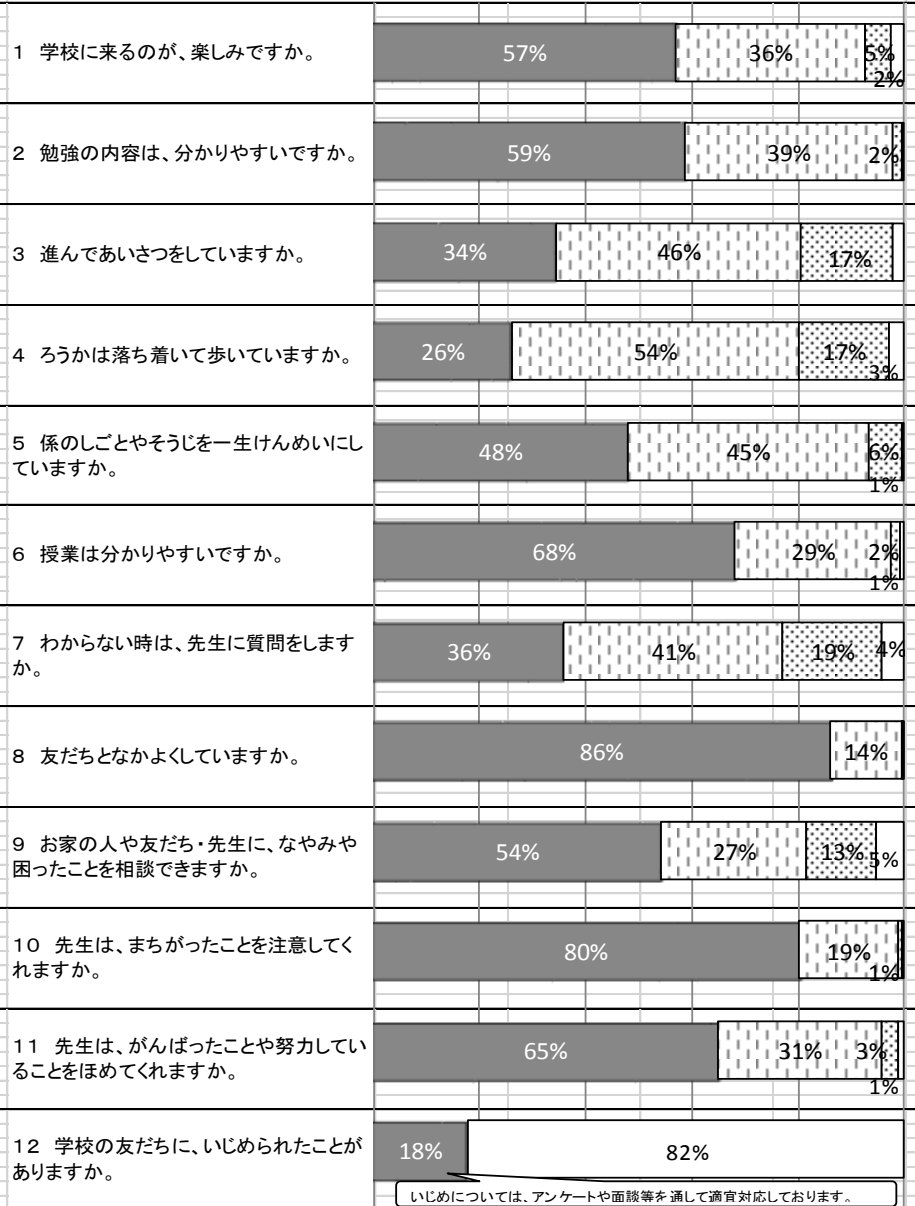
■よく出来ている □大体出来ている □あまり出来ていない □出来ていない
0% 20% 40% 60% 80% 100%



過日は、ご多用の中、本校の学校評価アンケート調査にご回答いただきありがとうございました。保護者の皆様、学校評議員、青少年育成仲本地区会の皆様へ回答を得た集計結果です。(裏面には考察を載せました。)検討を加え、今後の学校運営に生かして参ります。

児童

■よく出来ている □大体出来ている □あまり出来ていない □出来ていない
0% 20% 40% 60% 80% 100%



いじめについては、アンケートや面談等を通して適宜対応しております。

【令和元年度 学校評価アンケートの考察】

今年度も全項目において概ね肯定的な意見をいただきました。特に、12項目中、No. 7、8、9、10などの項目は高い評価をいただいています。その中から、いくつか抜粋いたします。

〈結果より〉

- 児童からの評価では、「学校に来るのが楽しみ」の項目で、昨年度より「思う」が3%向上して93%が肯定的な回答をしています。学校の合言葉「明日が楽しみ仲本小」を概ね達成することができました。
- 1の「一人ひとりの子どもたちを大切に育てる教育」について、94%の肯定的な回答をいただきました。日々の様々な教育活動で児童に寄り添った指導を評価していただいたと感じています。今後もさらに向上するよう取り組んでまいります。
- 4の「子どもたちはよくあいさつをしている」については、「よく出来ている」「大体出来ている」という評価が昨年度よりも2%下がりました。児童会中心に行っている挨拶運動や教職員による立哨指導等で行っておりますが、「自分から進んで」や「地域の方々や下校指導の保護者の方々へのあいさつ」については特に課題と考えています。これを受けて3学期の始業式で、全体指導を行いました。また、大人から進んで気持ちのよい挨拶をしていこうと教職員間で共通理解を図り、大人が子どもの手本となって校外で気持ちのよい挨拶を心掛けていきます。地域の皆様にもご協力いただけるとありがたいです。
- 教職員からは、児童の姿から、思いやりのある行動や読書活動に対する評価が高まっています。学校だけでなく、ご家庭でのご支援もあると考えます。

〈保護者アンケートの記述欄から〉

○学校のよいところ

- ・子どもをしっかり見ていただき、気配りに感謝です。安心しています。
- ・給食メニューに工夫あっていいと思います。
- ・アンケートのオンライン化がありがたいです。
- ・見守りが手厚い地域で生活する恵まれた子ども達だと思います。
- ・モルモットやウサギのホームステイは、子どもの責任感や情操教育、動物愛護の観点からもとても良い取り組みだと思います。

○要望等について

- ①きれいな学校環境づくり
今年度から清掃の振り返りやお掃除マニュアルビデオを作成して取り組んでいます。さらに、清掃指導の充実を図ってまいります。
- ②うわばきについて
金曜日下校時に教室からうわばきを脱がず、下駄箱で脱ぐようにします。また、体育館使用時はうわばきを履きかえておりましたが、履き替えをやめます。校内は従来の体育館用うわばき使用で一本化いたします。(詳しくは2月の学校便り)
- ③ランドセルが重い
発達段階、教室環境等に合わせて学習に支援のない範囲内で学年ごとに対応してまいります。(詳しくは2月の学校便り)
- ④宿題について
学年内で統一を図り、発達段階や学習進度に合わせて出してまいります。
- ⑤学校のルールについて
保健室の利用や電話についてよくわからないとの声を頂きました。保健室の利用については、新入学児童説明会用の資料でご確認いただくか、資料がない場合は担任を通じてお申し出ください。
- ⑥学校評価アンケートについて
項目によっては子どもの実態や様子が分からず答えることが難しいため、「わからない」という選択肢を設けてほしいとの声を頂きました。次年度は、内容項目を検討するとともに、選択肢を見直してまいります。
- ⑦その他
その他に、教職員の多忙解消について、多くのご心配ご意見を頂きました。一層の業務の見直し・改善に努めるとともに、子どもたちが「明日が楽しみ仲本小」となるよう学習環境を整えてまいりたいと思います。アンケートへのご協力ありがとうございました。